



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第163号

発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和6年3月29日



【今月のピックアップ!】

- ① 令和6年度ユニバーサル推進課新規・拡充事業
- ② 合理的配慮の提供の義務化
- ③ HYOGO スポーツ新展開検討委員会「ユニバーサルスポーツ分科会」の最終報告

【手話カフェ】

- ④ コミュニケーションは生きていくよろこび

【イベント】

- ⑤ 兵庫ユニバーサルマラソン2024の開催
- ⑥ KOBE2024世界パラ陸上20日前 PR イベント
- ⑦ 第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催
- ⑧ ドリームカフェにて「石川応援メニュー」を提供中!
- ⑨ 「兵庫県障害者アートギャラリー」の催し

【お知らせ・募集】

- ⑩ ユニバーサルなラジオ
- ⑪ 令和6年度身体障害者補助犬の貸付希望者を募集します
- ⑫ 「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」の候補者を募集します
- ⑬ 障害者芸術・文化祭オープニングシンポジウムを開催しました
- ⑭ 兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」の受賞者が決定しました

- ⑮ ひょうごふるさと寄附金を募集しています
「障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト」「小児筋電義手」
- ⑯ 障害者スポーツ出前講座のご案内
- ⑰ 兵庫県立美術館「ゆっくり解説会 in spring」のご案内
(手話通訳・要約筆記付)



【今月のピックアップ！】

① 令和6年度ユニバーサル推進課新規・拡充事業

令和6年度のユニバーサル推進課の新規・拡充事業について、ご紹介いたします。

1 (拡)ユニバーサル社会づくりの充実強化

「ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針」について、前回の改定から6年が経過、社会情勢の変化やユニバーサル社会づくりの取組状況を踏まえ、改定

2 (新)農福連携拡大推進事業

農福連携に取り組む障害福祉事業所を増やすとともに、工賃向上に繋がる生産活動としての農福連携を実現するため、動画やセミナーによる好事例の紹介や専門家による農業経営への指導を実施

3 (新)ユニバーサルなスポーツ施設調査・検討事業

パラスポーツの振興を図るため、県内スポーツ施設の現状調査等を実施し、障害者・健常者がともに使いやすい「ユニバーサルなスポーツ施設のあり方」を検討

4 (新)神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会への支援

東京2020パラリンピック競技大会で醸成された機運やレガシーを絶やさず、パラスポーツの振興を図るため、神戸で開催される世界パラ陸上競技選手権大会への支援を実施

5 (拡)障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト

(1)作品展示・発表の支援

○常設展の開催

・場 所:「兵庫県障害者アートギャラリー」

(県立美術館王子分館原田の森ギャラリー内)

- ・内 容:約15作品程度を3か月毎に年4団体展示
- 作品展示・発表会の開催支援
 - イベント開催経費及び作品等の運搬設営経費への支援
(8万円×5団体)
- (2)鑑賞機会の拡大に向けたサポート
 - 施設運営者を対象に障害者が観劇する際に必要な合理的配慮の研修を実施
- (3)障害者芸術作品巡回展
 - 県内各圏域で巡回展を開催(15箇所)

② 合理的配慮の提供の義務化

令和6年4月1日から「改正障害者差別解消法」が施行され、事業者による障がいのある人への「合理的配慮の提供」が義務化されます。

◆合理的配慮の提供とは

誰もが暮らしやすい社会を実現するための”工夫”と考えてみてください。障害のある人から話を聞き、社会の側の障壁(バリア)を取り除くために、何ができるのか一緒に考えることが求められます。

◆障害者差別解消法の対象者

この法律での障害のある人とは、手帳の有無に関わらず、障害や社会の中にある障壁(バリア)によって日常生活や社会生活に相当な制限を受けている人全てが対象です。

事業者とは、個人か団体か、営利目的か非営利目的かを問いません。個人事業主や無報酬の事業を行うもの(ボランティア団体、自治会等)も対象となります(一般私人は対象外)。

◆合理的配慮の提供における観点

- ①障害のある人から意思表示があること(積極的に声をかけることも忘れずに)
- ② 障害のない人と比較し、同等の機会の提供を受けるためのものであること
- ③事務・事業の目的・内容・機能を本質的に変更するものではないこと
- ④過重な負担にならない範囲であること

◇兵庫県ホームページ

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf08/antidiscrimination.html>

③ HYOGO スポーツ新展開検討委員会「ユニバーサルスポーツ分科会」の最終報告

県のスポーツ行政の新展開について検討する「HYOGO スポーツ新展開検討委員会」(事務局:スポーツ振興課)の発足(R5.10)に伴い、障害者スポーツの振興について専門的な協議を行うことを目的とし、「ユニバーサルスポーツ分科会」が設置されました。

同分科会は、これまで計5回開催され、以下の5つの協議事項について、10名の委員により熱心な議論が行われました。

- (1)障害者スポーツの普及に関すること。
- (2)アスリートの発掘・育成・強化に関すること。
- (3)障害者スポーツ指導者等の養成のあり方に関すること。
- (4)障害者スポーツ拠点施設のあり方に関すること。
- (5)福祉部局にある障害者スポーツ推進体制に関すること。

令和6年1月(第5回)の最終分科会を経て、このたび3月7日に開催された第3回 HYOGO スポーツ新展開検討委員会において、次のとおり同分科会からの最終報告を踏まえた提案がなされました。

■ユニバーサルスポーツの普及

○障害者と健常者が一緒に参加できるインクルーシブなスポーツ活動の機会を増やす

○障害特性に応じた指導体制や競技道具の購入支援などパラアスリート強化支援の仕組みづくり

○スポーツ施設のユニバーサルデザイン化に向けて、ハード・ソフト両面での現状調査を実施

○市町等と連携して、地域特性に応じた圏域・市町域でのインクルーシブなパラスポーツ拠点づくり

※ユニバーサルスポーツ分科会の最終報告の詳細は次のとおり
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/documents/dai3kaiinkai.pdf>

【手話カフェ】

④ コミュニケーションは生きていくよろこび

今年度も最後の回になりました。

今年度は、実際に聴覚障害者と出会ったときの接し方、身近に耳が聞こえない・聞こえにくい人がいる時のマナーや付き合い方について取り上げてきました。

人にとって周りの人とのコミュニケーションはとても大切です。今日は私が聴覚障害の人と話していて、そうなのかと気づいたことを書きます。

聴覚障害の人は音声を聞き取るのが難しいことから、別の表し方として「コミュニケーション障害」・「情報(を取得活用するのが難しい)障害」と言われています。

私が今まで何度か面接の通訳をした中で、不思議に思うことがありました。面接官から聴覚障害の応募者に「あなたの好きなことや得意なことは何ですか」という質問が出たときに、「私は人とコミュニケーションすることが好きです。」あるいは「周りの人に積極的に話しかけて、コミュニケーションするのが得意です。」といった答えがしばしば出るのです。

「コミュニケーションに困っている」と同時に、好きなことや得意なことがコミュニケーションであることに不思議な気持ちがあったのです。

ある時、聴覚障害の友人と話していた時に、その人が「手話でも、筆談でも、口話でも、とにかく周りの耳の聞こえる人と話ができるととてもうれしい。私たちはいつもコミュニケーションに困っているから、話ができることの喜びはあなたたち耳が聞こえる人の何倍も大きいと思う」と言いました。

なるほどねー、そうなんだー、目が覚める一言でした。

音声主体のコミュニケーション・情報伝達の社会で、聴覚障害の人はまだまだ十分な社会参加ができていません。でも、コミュニケ

ーションをすることが喜びであり、人の生きていく原動力になるの
ですね。すべての人が自由に、安心して、コミュニケーションをとれ
る社会になっていきますように。そして、すべての人が伝えたいこ
とを伝え合い、自分の力を発揮できるような社会にしていしましょ
う。

【イベント】

⑤ 兵庫ユニバーサルマラソン2024の開催

障害者の体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、
広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を深めることを目的
として「兵庫ユニバーサルマラソン2024in 尼崎の森中央緑地」を
開催します。

当日は神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会会
長の増田明美さん、西宮市出身で東京2020パラリンピック陸上
T52・100m銀メダリストの大矢勇氣選手がゲスト参加する予定
です。

会場では、スポーツを通じた共生社会の実現のため、障害や多
様性への理解促進と、2024年5月開催の世界パラ陸上神戸大会
に向けた機運醸成を目的として、パラスポーツ体験会も実施します。

そのほか、尼崎運河探検クルーズや障害のある方が働く事業所
で作られた、パン・焼き菓子等の商品を販売する+NUKUMORI
マルシェも開催します。

◆兵庫ユニバーサルマラソン 2024

■日時:3月30日(土)9:00 受付開始

- ① 9:45~FUNラン&ウォーク(約 600m) 25 名参加予定
- ② 10:00~車いすロードレース(約 8km) 7 名参加予定
- ③ 11:00~ユニバーサルリレー(約 8km) 27 組参加予定

※参加申込受付は終了しました

※前田穂南選手(現日本記録保持者)の父を含むレジェンドチームが参加

- ・増田明美(84ロス五輪日本代表) ・前田哲宏(前田穂南選手の父親)
- ・小崎まり(世界陸上3度出場) ・山本佳子(元マラソン日本記録保持者)
- ・谷本観月(19ドーハ世界陸上日本代表)

■場所:尼崎の森中央緑地 特設折り返しコース
(兵庫県尼崎市扇町 33-4)

■参加費:無料

【同時開催】

◇ パラスポーツ体験会

■場所:芝生広場周辺

■時間:10:00~14:00

■体験種目:フライングディスク、ボッチャ、モルック等
いろいろなパラスポーツが体験できます。

障害の有無にかかわらずお楽しみいただけます。

◇ 尼崎運河探検クルーズ

■乗船場所:尼崎市立魚釣り公園

■出航時間:①13:00~ ②14:30~

■乗船時間:約 1 時間程度

■定員:各便約 60 名

■参加費:無料

※乗船場所まで送迎あり。

※安全上、車いすでの乗船はできません。

※天候により中止の場合あり。

詳細はHPに公表しています。

◇兵庫県ホームページ

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/um2024.html>

◆神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会にもご注目ください！

■日時:5月17日(金)~25日(土)

■場所:神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
(兵庫県神戸市須磨区緑台)

■参加選手数:約100か国・地域、約1,300人(見込み)

◇神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会ホームページ

<https://kobe2022wpac.org/>

⑥ KOBE2024世界パラ陸上20日前 PR イベント

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会が開催20日前を迎えるにあたり、開催直前のさらなる機運醸成等を図るためパラスポーツ体験会や KOBE2024世界パラ陸上のPRブース出展などのPR イベントを実施します。(詳細は後日兵庫県HPで公表します)

■日時:4月27日(土)11:00~17:00

■場所:大丸神戸店東側 明石町筋道路

⑦ 第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

本大会は、県内の障害者がスポーツを通じて体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、県民の障害者に対する理解と認識を深め交流することを目的とし開催しています。また、10月に実施される第23回全国障害者スポーツ大会の県予選も兼ねて実施します。

■日時:令和6年4月28日(日)~令和6年5月26日(日)

■競技:車いす使用者の部(陸上競技、フライングディスク)

卓球、水泳、バレーボール、ボウリング、ボッチャ、
サウンドテーブルテニス、バスケットボール、陸上競技
フライングディスク、ソフトボール、サッカー

■場所:県立三木防災公園、県立障害者スポーツ交流館 等

■兵庫県ホームページ

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/17nojigikusports_taikai.html

■お問い合わせ

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

(兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-3237/FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑧ ドリームカフェにて「石川応援メニュー」を提供中！

兵庫県庁2号館1階で開設している「ドリームカフェ」において、3月より「石川応援メニュー」を提供しています。

●金澤たんとカレー

○1日限定10食

○セット800円・単品700円

(セットはサラダ・スープ・ドリンクの内2つ選択可能！)

●能登特製ブレンド珈琲(300円)

4月末日までの販売となっております。

お近くに来られた際は、ぜひお立ち寄りください。

詳しくは下記の兵庫県ホームページに掲載していますので、ぜひチェックしてください。

■営業時間

開庁日の10:00～17:00(ラストオーダー16:30)

※金澤たんとカレーは11:30より販売開始！

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/shuroushien/dream.html>

⑨ 「兵庫県障害者アートギャラリー」の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では4月2日(火)から神戸光生園の「にちにち そうさく～日日 創作～」展を開催します。

使う画材や色合い、作風も様々で、好きなものを日々コツコツと創作している姿が目に浮かぶような作品ばかりです。

神戸光生園の皆さんが自由に描いた創作の世界を、どうぞご鑑賞ください。

◇「にちにち そうさく～日日 創作～」

■日 時:4月2日(火)～6月28日(金)10:00～18:00

※最終日は12:00閉場

※月曜日休館(祝日の場合は翌日)

■場 所:兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階

(神戸市灘区原田通3-8-30)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

■お問い合わせ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL:078-362-4090/FAX:078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

【お知らせ・募集】

⑩ ユニバーサルなラジオ

Kiss FM KOBEで毎週金曜日7:30～11:00に放送されている「ENERGY FRIDAY!!!」で、令和5年10月から、月1回第3金曜日(9:25頃から約5分間)に翌月以降の県内の主な障害者等を対象としたイベントについて、情報発信しています。

令和6年度は年間9回放送予定です。ぜひお聞きください。

■発信内容

障害のある方等を対象にしたイベントや障害者団体が実施する販売会等について、番組内で情報発信

※出演 DJ:ターザン山下 氏

◆3月15日(金)は時間を拡大し、ひょうごユニバーサル大使の濱田祐太郎氏(吉本興業(株)所属の盲目のお笑い芸人、2018年R-1グランプリ優勝者)にご出演いただきました。

・日時:3月15日(金)9:25～9:35

・DJ:ターザン山下、小林祐梨子

・内容:第12回大阪マラソン(2月25日)のチャレンジラン7.2キロに参加されたときの体験談

(濱田さんの主なコメント)

・小雨が降り冷え込みも強い悪条件のなか、目標タイム1時間を大きく上回る53分30秒で完走!

・見える、見えないに関わらず参加者全員で一体感・達成感を感じることができた

- ・めちゃめちゃしんどかったけど、沿道からの声援・応援に力をもらった
- ・今後も、ギャラがいただけるなら走りたい、というか、ギャラがなければ2度と走りたくない！（笑）

■Kiss FM KOBE

親局／89.9MHz 姫路／77.6MHz 芦屋／87.1MHz
城崎／87.9MHz 氷上／78.3MHz 香住／78.4MHz
淡路／79.9MHz

⑪ 令和6年度身体障害者補助犬の貸付希望者を募集します

県は、障害がある方の自立と社会参加を進めるため、身体障害者補助犬(以下補助犬)の貸付事業を行っています。

補助犬というと「盲導犬」を思い浮かべる方が多いのですが、それだけではありません。手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートする「介助犬」や、聞こえない・聞こえにくい人に必要な生活音を知らせる「聴導犬」もいます。

■補助犬の貸付希望者を募集します

今年度も、5月15日(水)まで、補助犬の貸付希望者を募集しています。貸付を希望される方は、まずは、居住地の市福祉事務所・町役場の障害福祉担当課にご相談ください。

■申請についての詳しい内容は、県HPをご覧ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000024.html

⑫ 「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」の候補者を募集します

県は、年齢、性別、障害の有無、文化等の違いに関わりなく、全ての人々が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる「ユニバーサル社会」を、皆さまで一緒に実現することを目指しています。

今年度も、ユニバーサル社会づくりに向けた個人・団体・企業の率先した実践活動を「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」として、顕彰します。

ユニバーサル社会の実現に向けて取り組まれている個人、団体、企業の方は、ぜひご応募ください。(自薦、他薦を問いません。)

■対象

ユニバーサル社会づくりの率先した活動を行っている兵庫県内に在住又は活動拠点を置く個人、団体、企業

■申し込み方法

応募用紙に必要事項を記入のうえ、兵庫県福祉部ユニバーサル推進課 社会参加支援班に提出してください。(郵送、メール、持参いずれも可)

■募集締切

令和6年5月 17 日(金)

■詳細は県 HP をご覧ください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shakaidukuri.html>

⑬ 障害者芸術・文化祭オープニングシンポジウムを開催しました

3月1日(金)、県立美術館において、タレントのセイン・カミュさん、神戸市長田区にある片山工房の新川理事長、スタッフの川本さんと、司会に KissFM のターザン山下さんをお迎えし、2025 年に開催される大阪・関西万博に向けて障害や多様性の理解促進を図るため、また表現活動の素晴らしさや今後の障害者芸術のあり方を考えるシンポジウムを開催しました。

セイン・カミュさんからは、現在の活動のきっかけとなった妹さんやご家族のこと、仲間との出会いなどから、家族の支えや個々にあった環境を与えることの大切さ、アートの素晴らしさに国境も障害のあるなしも関係なく、優しい気持ちが広がってほしいことなど

をお話しいただき、片山工房の新川理事長と川本さんからは、施設の活動やメンバーの創作活動の様子をスライドでご紹介いただきながら、いい絵を描こうとするのではなく、描きたい絵を描くことができる環境を、共感の心を持って支える姿勢が大事だということをお話しいただきました。

講演終了後は、家族間の接し方や創作するときのかかわり方、画材のことなど、多くの質問にお答えいただきました。

ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090/FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑭ 兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」の受賞者が決定しました

3月1日～10日まで、第19回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展を開催しました。全部で412点の応募があり、その中から部門ごとに28点の受賞作品が決まりました。

来年もまた皆さまの心のコもった作品をお待ちしております。

※受賞者一覧および作品の写真は県HPで見られます。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_0000000009.html

■お問合せ

第19回兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会

(兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑮ ひょうごふるさと寄附金を募集しています

「障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト」「小児筋電義手」

兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」のうち、障害者の社会参加を支援する2つのプロジェクトをご紹介します。

■障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト

自らの障害を乗り越え、スポーツに打ち込む、輝く障害者アスリートに、障害者スポーツ用具の購入支援等を行います。

また、施設で集団生活を送る障害児に、発達や情緒の形成に寄与するスポーツ競技用具や積み木などの知育玩具・遊具の購入費、動物園や遊園地などでのレクリエーション活動経費を助成することで、子どもたちに“新たな経験”を届けるための支援を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/zeitemplate.html>

■小児筋電義手バンクへの応援プロジェクト

筋電義手(きんでんぎしゅ)とは、筋肉が収縮するときに生じる微量の筋電位を利用して、本人の意思で指を動かせる電動の義手です。筋電義手は、お茶碗を持ってお箸で食べる、紙を持ってハサミで切るなどの両手での動作を可能にし、体のバランスを整えるなど、こどもの成長過程で様々な利点があります。

皆さまからの寄附により、事故や病気などによって手を失ってしまった子ども達へ訓練用筋電義手の確保・貸出等を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/bank.html>

■兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」全般についてはこちら

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kihu01.html>

⑩ 障害者スポーツ出前講座のご案内

兵庫県では、障害者スポーツへの理解向上・すそ野拡大のため、出前講座を随時実施しています。

学校や企業、地域のスポーツクラブなどから申込を受け、車いすバスケットボールやボッチャなどのパラスポーツ体験や、障害者ア

スリートによる実演などを現地にて行いますので、お気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせ

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

TEL:078-362-3237/FAX:078-362-9040

⑰ 兵庫県立美術館「ゆっくり解説会 in spring」のご案内
(手話通訳・要約筆記付)

兵庫県立美術館では「スーラージュと森田子龍」、「コレクション展 I 生誕百年特別展示—コレクションからザ・ベリー・ベスト・オブ・白髪作品—」を開催します。担当学芸員が、展覧会の見どころを手話通訳と要約筆記を交え、普段よりも「ゆっくり」したペースでお話しする解説会です。

どなたでもご聴講できます。ぜひご来場ください。

■日 時:令和 6 年4月 28 日(日)13:30~14:25

・13:00 開場

・13:30~13:55 ①スーラージュと森田子龍展解説(25分)

・13:55~14:00 休憩(10分)

・14:00~14:25 ②2024 コレクション展 I 解説(25分)

【各解説後に質問コーナー】

■会 場:レクチャールーム

■定 員:60名

■聴講方法:先着順(整理券配布)通しでの聴講可、いずれか一つの聴講も可

■参加費:解説会は無料

■お問い合わせ:兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

TEL:078-262-1011/FAX:078-262-0903

Email:museum@artm.pref.hyogo.jp

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp
